



基本的なデバイス管理

この章では、Cisco NX-OS デバイスの基本設定を構成、管理、確認する方法について説明します。

- [基本的なデバイス管理の概要, on page 1](#)
- [基本的なデバイス管理の注意事項と制限事項 \(2 ページ\)](#)
- [デバイスのホスト名の変更, on page 3](#)
- [MOTD バナーの設定, on page 4](#)
- [タイム ゾーンの設定, on page 5](#)
- [夏時間の設定, on page 6](#)
- [デバイス クロックの手動設定, on page 7](#)
- [クロック マネージャの設定 \(8 ページ\)](#)
- [ユーザーの管理, on page 9](#)
- [デバイス コンフィギュレーションの確認, on page 10](#)
- [基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定, on page 10](#)
- [基本的なデバイス管理に関する追加情報 \(11 ページ\)](#)

基本的なデバイス管理の概要

ここでは、基本的なデバイス管理の概要について説明します。

デバイスのホスト名

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト (switch) から別のストリングに変更できます。デバイスに固有のホスト名を付けると、コマンドラインインターフェイス (CLI) プロンプトからそのデバイスを容易に特定できます。

Message-of-the-Day バナー

Message-of-The-Day (MOTD) バナーは、デバイス上でユーザログインプロンプトの前に表示されます。このメッセージには、デバイスのユーザに対して表示する任意の情報を含めることができます。

デバイス クロック

デバイスを NTP クロック ソースなどの有効な外部の時間調整機構と同期させない場合は、デバイスの起動時にクロック タイムを手動で設定できます。

クロック マネージャ

Cisco Nexus シャーシには、異なるタイプのクロックを搭載することができます。これらは同期することが必要な場合があります。これらのクロックは、さまざまなコンポーネント（スーパーバイザ、LC プロセッサ、またはラインカードなど）の一部で、それぞれ異なるプロトコルを使用している場合があります。

クロック マネージャには、これらの異なるクロックを同期する機能があります。

タイム ゾーンと夏時間

デバイスのタイムゾーンと夏時間を設定できます。これらの値により、クロックの時刻が協定世界時 (UTC) からオフセットされます。UTC は、国際原子時 (TAI) をベースにしており、うるう秒を定期的に追加することで地球の自転の遅れを補償しています。UTC は、以前はグリニッジ標準時 (GMT) と呼ばれていました。

ユーザ セッション

デバイス上のアクティブなユーザセッションを表示できます。また、ユーザセッションにメッセージを送信することもできます。ユーザーセッションおよびアカウントの管理の詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus security configuration guide を参照してください。

基本的なデバイス管理の注意事項と制限事項

基本的なデバイス管理の注意事項と制限事項は次のとおりです。

- **show tech-support libsdk** コマンドおよび **show tech-support mtc-usd** コマンドはサポートされていません。代わりに **show tech-support module 1** コマンドを使用してください。（NX-OS 7.0(3)I7(2) 以降のリリース）。

デバイスのホスト名の変更

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト（switch）から別のストリングに変更できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **{hostname | switchname} name**
3. **exit**
4. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	{hostname switchname} name Example: hostname コマンドの使用： <pre>switch(config)# hostname Engineering1 Engineering1(config)#</pre> switchname コマンドの使用： <pre>Engineering1(config)# switchname Engineering2 Engineering2(config)#</pre>	デバイスのホスト名を変更します。 <i>name</i> 引数は、63 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。デフォルト名は switch です。 Note switchname コマンドは、 hostname コマンドと同じ機能を実行します。
ステップ 3	exit Example: <pre>Engineering2(config)# exit Engineering2#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>Engineering2# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

MOTD バナーの設定

ユーザーがログインするときに端末でログインプロンプトの後に MOTD が表示されるよう設定できます。MOTD バナーには、次の特徴があります。

- 1 行あたり最大 80 文字
- 最大 40 行

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **banner motd *delimiting-character message delimiting-character***
3. **exit**
4. (Optional) **show banner motd**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	banner motd <i>delimiting-character message delimiting-character</i> Example: <pre>switch(config)# banner motd #Welcome to the Switch# switch(config)#</pre>	MoTD バナーを設定します。メッセージテキストでは、区切り文字を使用しないでください。 Note " または % は、区切り文字に使用しないでください。
ステップ 3	exit Example: <pre>switch(config)# exit switch#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	(Optional) show banner motd Example: <pre>switch# show banner motd</pre>	設定された MOTD バナーを表示します。
ステップ 5	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

タイムゾーンの設定

UTC からデバイスのクロック時刻をオフセットするためにタイムゾーンを設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **clock timezone zone-name offset-hours offset-minutes**
3. **exit**
4. (Optional) **show clock**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: switch# configure terminal switch(config)#	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	clock timezone zone-name offset-hours offset-minutes Example: switch(config)# clock timezone EST -5 0	タイムゾーンを設定します。 <i>zone-name</i> 引数は、タイムゾーンの略語（PST や EST など）である 3 文字の文字列です。 <i>offset-hours</i> 引数は、UTC からのオフセット値であり、有効な範囲は -23 ～ 23 時間です。 <i>offset-minutes</i> 引数の範囲は、0 ～ 59 分です。
ステップ 3	exit Example: switch(config)# exit switch#	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	(Optional) show clock Example: switch# show clock	時間とタイムゾーンを表示します。
ステップ 5	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

夏時間の設定

デバイスで夏時間を有効にする時期と、オフセット（分単位）を設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **clock summer-time** *zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes*
3. **exit**
4. (Optional) **show clock detail**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	clock summer-time <i>zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes</i> Example: <pre>switch(config)# clock summer-time PDT 1 Sunday March 02:00 1 Sunday November 02:00 60</pre>	夏時間を設定します。 <i>zone-name</i> 引数は、タイムゾーンの略語（PST、EST など）である 3 文字のストリングです。 <i>start-day</i> 引数と <i>end-day</i> 引数の値は、Monday、Tuesday、Wednesday、Thursday、Friday、Saturday、および Sunday です。 <i>start-month</i> および <i>end-month</i> 引数の値は January、February、March、April、May、June、July、August、September、October、November、および December です。 <i>start-time</i> および <i>end-time</i> 引数の値は、<i>hh:mm</i> フォーマットです。 <i>offset-minutes</i> 引数の範囲は、0 ～ 1440 分です。
ステップ 3	exit Example: <pre>switch(config)# exit switch#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 4	(Optional) show clock detail Example: switch(config)# show clock detail	設定された MOTD バナーを表示します。
ステップ 5	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

デバイス クロックの手動設定

デバイスがリモートの時刻源にアクセスできない場合、クロックを手動で設定できます。

Before you begin

タイムゾーンを設定します。

SUMMARY STEPS

1. **clock set** *time day month year*
2. (Optional) **show clock**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	clock set <i>time day month year</i> Example: switch# clock set 15:00:00 30 May 2008 Fri May 30 15:14:00 PDT 2008	デバイス クロックを設定します。 <i>time</i> 引数のフォーマットは <i>hh:mm:ss</i> です。 <i>day</i> 引数の範囲は 1 ～ 31 です。 <i>month</i> 引数の値は January 、 February 、 March 、 April 、 May 、 June 、 July 、 August 、 September 、 October 、 November 、および December です。 <i>year</i> の引数の範囲は 2000 ～ 2030 です。
ステップ 2	(Optional) show clock Example: switch(config)# show clock	現在のクロック値を表示します。

クロック マネージャの設定

Cisco Nexus シャーシのコンポーネントのすべてのクロックを同期するように、Clock Manager を構成できます。

手順の概要

1. **clock protocol protocol vdc vdc-num**
2. (任意) **show run clock_manager**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	clock protocol protocol vdc vdc-num 例 : <pre># clock protocol ptp vdc 2</pre>	クロック マネージャを設定します。 The values for the <i>protocol</i> argument are ptp, ntp, and none. 次に、値について説明します。 • ptp : IEEE 1588 で記述されているとおりに、クロックを高精度時間プロトコル (PTP) と同期します。 • ntp — Synchronizes clocks with Network Time Protocol (NTP). • none - clock set スーパーバイザ クロックの設定に使用します。 (注) none が使用されている場合、指定の VDC のクロックを構成する必要があります。 (注) プロトコルが設定されたら、指定の VDC のクロックはそのプロトコルを使用する必要があります。 たとえば、clock protocol ptp vdc 2 コマンドを入力すると、VDC 2 に PTP が設定されます。 vdc 引数の範囲は、1 ～ 8 です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	(任意) show run clock_manager 例： <code>#show run clock_manager</code>	クロック マネージャの設定を表示します。

ユーザーの管理

デバイスにログインしたユーザの情報を表示したり、それらのユーザにメッセージを送信したりできます。

ユーザ セッションに関する情報の表示

デバイス上のユーザ セッションに関する情報を表示できます。

SUMMARY STEPS

1. **show users**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	show users Example: <code>switch# show users</code>	ユーザ セッションを表示します。

ユーザーへのメッセージ送信

デバイス CLI を使用して、現在アクティブなユーザにメッセージを送信できます。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show users**
2. **send [session line] message-text**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) show users Example: switch# show users	アクティブなユーザ セッションを表示します。
ステップ 2	send [session line] message-text Example: switch# send Reloading the device is 10 minutes!	すべてのアクティブなユーザまたは特定のユーザにメッセージを送信します。このメッセージは最大 80 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。

デバイス コンフィギュレーションの確認

構成を確認するためには、次のいずれかのコマンドを使用します。

コマンド	目的
show running-config	Running Configuration を表示します
show startup-config	スタートアップコンフィギュレーションを表示します。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus コマンド参考資料を参照してください。

基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定

次の表に、基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定を示します。

Table 1: デフォルトの基本的なデバイス パラメータ

パラメータ	デフォルト
MOTD バナー テキスト	User Access Verification
クロック タイム ゾーン	UTC

基本的なデバイス管理に関する追加情報

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco NX-OS ライセンス設定	『Cisco NX-OS ライセンス ガイド』
コマンドリファレンス	Cisco Nexus 3548 スイッチ NX-OS 基本コマンドリファレンス

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。